

議会改革特別委員会

9月定例会で本委員会に五條市議会議員の報酬等に関する条例の一部改正についての1議案が付託され、閉会中の10月18日及び11月22日に委員会を開いて協議を重ね、審査の結果、否決すべきものと決定しました。委員会で委員から出された意見等の内容の一部を抜粋してお知らせします。

五條市議会議員の報酬等に関する条例の一部改正について

(本議案の内容は、本紙10ページに記載のとおりです。)

【10月18日における協議】

委員 市税が減少しており、政務活動費も引下げが必要だと思っ

委員 できれば総意を持って決めた

委員 コロナ禍で市民の皆さんが大変な生活をしている中、市民と共に痛みを分かち合い、五條市の財政健全化を維持するためには、議員報酬の減額が必要である。

委員 議員報酬だけで生活を支える若い世代の議員の成り手不足が懸念される。

委員 財政が豊かな市と比べ、議員の仕事はどのくらい違うのか。

委員 本市では議員に支給されていない費用弁償や非常勤の特別職に対する報酬について、他市の支給状況を調査する必要があるのではないか。

【11月22日における協議】

全国市議会議長会の調査によると、本市では支給されていません

が、人口5万人未満の市では、本会議等に出席するたびに日額などを支給している市議会が57.1%あり、また、議員に対して委員会や附属機関の委員報酬も支給されている市があること。さらには、全国市議会議長会が、小規模市議会における議員の成り手不足が深刻化しており、生計維持が可能な水準まで議員報酬を引き上げることができるよう地方財政措置の強化を図るよう国に要望していることなどを踏まえ、さらに関連な意見交換を行いました。

委員 議員報酬だけをみると高い

が、本市では本会議等に出席しても費用弁償は支給されていない。また、本市の議員定数は全国的に見ても少ないことから、議会費は多くないと思う。

委員 大事なことは、委員全員が合意できる案を出すことである。

委員 人事院勧告に伴う議員の期末手当の改正も視野に入れて議論しないといけない。

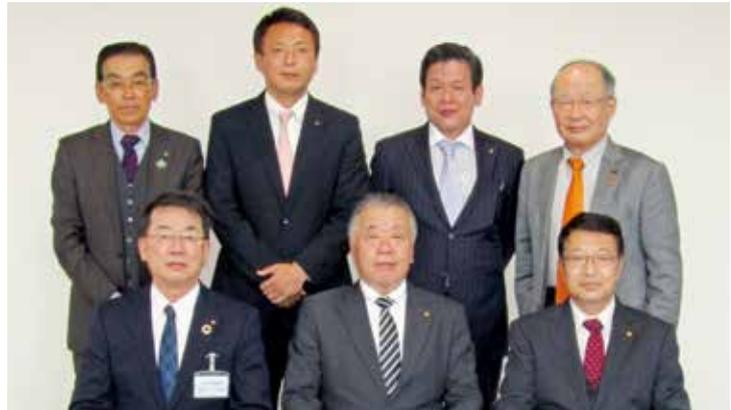
委員 議論することは重要なことではあるが、結論を出すべき。

各種委員会委員の紹介 (令和4年12月9日撮影)



地域活性化及びインターチェンジ周辺整備特別委員会委員

(上段左から、養田全康委員、谷勝啓委員、平岡清司委員、下段左から齋藤有紀副委員長、窪佳秀委員長、福塚実委員)



広域防災拠点整備及び自衛隊駐屯地誘致特別委員会委員

(上段左から、窪佳秀委員、養田全康委員、福塚実委員、岩本孝委員、下段左から山口耕司委員、吉田正委員長、平岡清司副委員長)

編集後記

暦の上では春を迎える頃となりました。1年間広報編集に携わらせていただき、貴重な経験を得ることができました。委員会委員をはじめ、記事を提供いただいた議員、そして表紙写真にご応募いただきました方々など、皆様にお力添えをいただき、誠にありがとうございました。

旧委員会体制での最後の広報を発行させていただきます。

干支の卯に点を二つ入れると卵になることから、辰年に立ち、巳年に実となることを二つ、準備をするに良い年だという話を聞きました。

皆様、お身体に気をつけて、元氣にお過ごしください。



議会広報編集委員会

委員長 齋藤 有紀

副委員長 藤富美恵子

委員 窪 佳秀

谷 勝啓

山口 耕司

養田 全康

“(前議長) 山口 耕司

“(前副議長) 養田 全康

※今回は旧の委員で発行しています。